

パソコン講師(インストラクター)・指導者養成講座アンケート

Step3 障害理解・支援技能講座

実施日： 2007年3月4日

Q1 受講した感想をお気軽にお聞かせください。

A いろんなことがわかった。

A 午前、午後ともよかった。大変ためになった。

A 思っていたより活動が多岐にわたっている。

A パソコンについて巾の広さを知り、まだまだ学習することの必要性を感じた。

A 毎回ですが、自分の知らない世界について、大変興味ある講座だった。

A 講座は結構きつかったのですが、今振りかえると、とてもよかったという感想が気持ちの中に残っている。

A PCに関してはスキルが足りず苦労した。障害に対しては認識が変わった(もっと身近という言い方は少し違いますが・・・)

A 今まで独自に使用していたパソコンだが、使用していない項目、機能がたくさんあることに驚いた。

A 説明をするということが難しいということがわかった。自分の知識を増やしていきたい。

A すごくためになった。自分のスキルアップにも繋がった。もっと知りたいと思う。

A 楽しかった。疑問に思う所が少しわかってよかった。

A 大変ためになった。現場内容が具体的であった。

A 現場での活動が少し見えてきた。

A 「菜の花」での活動の様子をビデオで見れたこと、いろいろなWebサイトの紹介が参考になった。

A 1-1ワークステーション「菜の花」について。実務の生のご意見と指導をうかがって、壁が高いと感じた。

A 1-2ケーススタディについて。体験談が豊であり、一部分でも参画を大和市で実行したい。

A 知的障害者を少しですが理解できたと思う。

A 障害について実際に障害者と日々かかわっている方のお話が聞けて良かった。

A パソコンを就業に結びつけるためにはかなり厳しい講習/学習が必要と思う。興味のあるところから意欲をおこさせるのが先だと感じた。

パソコン講師(インストラクター)・指導者養成講座アンケート

Step3 障害理解・支援技能講座

実施日： 2007年3月4日

Q2 障害を持つ方へのIT支援についてどのように思いますか？

- A どんどん進めて欲しい。
- A ぜひ必要なことだ。
- A するべきだと思う。ITのみならず支援は必要。
- A 生活を豊にするという点においても必要と思った。
- A こうした努力は素晴らしいことだと思うし、多くの人々に知ってもらいたい。
- A やはり個々の方の理解が必要でそれをふまえてのIT支援だと思う。
- A 就労までは、なかなか難しいことがわかったが、まずは、楽しみを見つれたり、世界を広げるということで必要なものだと思う。
- A 目的、手段が良くわからなかったが、モチベーションを高めるために必要で、それなりの工夫も必要であると思う。
- A 自分自身が障害者なので役に立ちたいと思う。
- A 何とかして、自分も参加したい。
- A 容易ではないけど・・・興味が湧いてきた。
- A 大変だと思いますが、自分も少しずつ勉強し役に立てたらと思っている。
- A 「バリアフリー」ということで社会的弱者との間に壁を作らない取り組みがとても大事で、今後もできるだけ携わっていきたいと思う。
- A 知らないだけで、やってみると興味を持つ方、できる方は多いと思う。その手助けができればいいなと思う。
- A 生活を豊かにする点で、すすめていけたらと考えるが、家庭での支援となると、セキュリティ面のフォローなど課題は多いと思う。
- A 知的障がいと身体障がいを分けた方がよいように思う。
- A 障害についての認識がまだ十分知り得ないので支援の方法が分からない。又障害者自身がITについてどう考えておられるのか。
- A 障害者の内容と実態が未だつかめていない。この段階でのIT支援には、自信が未だ持てない。

パソコン講師(インストラクター)・指導者養成講座アンケート

Step3 障害理解・支援技能講座

実施日： 2007年3月4日

Q3 障害を持つかたのIT習得での就労・自立についてどのように感じましたか？

A もっと障害者に自立してほしい。

A まだまだ現状を理解できていませんが、私は沢山の方がITを使っての就労ができる！！と思っています。

A 1人または2人でも早く、就労の実績を作るとよい。市やメディア等で紹介されると広がっていくと思う。

A 職種によっては可能と思われるが、難しいだろう。

A 難しいところですが、可能にするための道はあるかもしれないと思います。

A 難しいが社会の理解は深まっていると思う。

A 就労は難しい。社会参加、生活の質の向上だけでも大変意義がある。

A 就労は大変難しいと思う。生活上に使用することや趣味に利用することが一番。

A 障害者のIT習得での就労、自立を大いに支援したいと思うが、一般社会がまだそれほどこの運動を理解していないので難しい。
A しかし努力は大いに続けて活動していくことを望んでいる。

A 障害者へのサポートをする事によって、就労と自立に興味があります。社会全体の支援と制度も必要と思います。

A 就労、自立ができたなら素晴らしいと思いますが、そこへ至るまでの道すじを見つけてあげたり、新しい仕事の創造など道のりが必要のようです。

A 一般の人でもパソコンで就労は厳しいと思うが、簡単などころから入れるかもしれないと思う。

A 口で言う程やさしくはなく、道のりは遠いと感じました。でも、出来なくはないと言うことも。

A 実際問題としてとても難しいということが野村さんの話からもよくわかりましたが、それでもその方向にむけて頑張る必要はあると実感しています。

A 現状では難しいと思います。IT技術を習得することも大切だけれど、仕事をみつける事の方が必要(大切)になってくると思います。

A 難しい問題だと思いました。お話にもありましたが、「世の中に障害者が居てあたり前」なら、是非就労と自立ができればいいと思います。

A 就労等はまだまだむずかしい。狭き門だと思う。

A なかなか難しいものがあると思いました。

パソコン講師(インストラクター)・指導者養成講座アンケート

Step3 障害理解・支援技能講座

実施日： 2007年3月4日

Q4 「応用行動分析」、「特別支援教育」等を採用した、知的障害者を含む発達障害児・者へのIT支援に賛成、参加希望のかたは、ご意見をお願いします。

A 知的障害者ということについてもっと深い知識をつけていきたい。その中で、どのように支援をしていけるのかを考えたい。

A ITで伸ばせる力がまだまだあると思うので希望は持っている。

A IT支援で賛成です。どんな形で参加できるかわからないが、参加に興味がある。

A 新たな誠力で興味がある。参加は考慮する。

A 施設の方と連携できるなら参加したいと思う。(時間があえば)もしできることなら採用した方がよい。

A 賛成。しかし、もっとよく理解してからにしたい。

A 参加を希望。1から意見は、具体的に書けません。

A 無駄なことがあっても進むしかないのではと思っている。

A お話の中にありましたように、ピラミッドがあるなら参加年齢をさげ早くから取り入れてほしいと思う。

A 行政その他でもっと支援されることが出来るとよい。

A いろんなことがわかった。

パソコン講師(インストラクター)・指導者養成講座アンケート

Step3 障害理解・支援技能講座

実施日： 2007年3月4日

Q5 これまでの経験や本日のご受講で「障害」について、感じた事・何か想いなどありますか？

A 仕事で作業所に勤めているため、身近に感じている部分はあったが、1人1人が違うためその人にあった支援方法を見つけ、支援していきたいと思う。

A 実際に、すでに実践に参加されている人がいて、頼もしい感じがした

A 午前の講義でも、午後の講義でも、自然に接することが大切と言われてた。自分の思うところに間違いはなかったと確認できた。

A 大和の障害者が対策が他に比して見劣りしない様に、「ピコピコ」として頑張ることが大事だと感じています。

A 障害とは何かな・・・目に見える事、見えない事、色々ある事を学びました。

A 今までよりはずっとこの世界の状況が理解出来た。

A 今までよりよくわかった。

A 多くの方の理解を得て、少しでも住みやすい世の中になるよう願います。

A 「障害」は本人の責任とっていなかったことを再認識できました。自分を念めてのバックアップの必要を感じました。

A 障害者のいる世の中が普通の世界というお話が印象的でした。特に、知的障害の人と接する機会は日々の生活の中ではないので、実際に教えるとなるととても難しそうに感じました。

A ゆっくりその方にあったペースでパソコンを覚えていける環境が必要だと思いました。

A 母が認知症にかかりかけており、高齢者の支援にITを利用する方法を考えていきたい。障害者に対するのと似ているが、就労・自立を目標としないので、別の工夫が必要と考える。具体的な手法について考えていきたい。

A 意思疎通が出来たときは、嬉しいでしょう。難しいでしょうが。

A 奥が深くて気の遠くなる思いもありますが、支援での可能性はおおいにあると思います。

A 支援に参加したいと思いますが、実際には、どうだろうかと思いました。

A 長年継続していくことが大切。

A 自分をもっとこの先、やらなければならない事が増えた感じ。

A 障害者に対する、思いは受講前とは変わらない